CAT4.11.3 リリースノート

最終更新日　2015/12/22

目次

リリースノートについて 1

リリースノートの内容 1
フィードバックについて 1

1. 主な修正 2

1.1. ログイン機能の強化 3
1.2. 障害参照画面での障害の編集・移動・複製 5
1.3. 障害コメントへのファイル添付 5
1.4. 外部 BTS 連携時の障害紐付けの簡易化 6
1.5. プロジェクト識別子の設定 6
1.6. テスト予定の CSV ダウンロード・インポート機能 7
1.6.1. テスト予定の CSV ダウンロード機能 7
1.6.2. テスト予定の CSV インポート機能 7

2. 障害要望対応一覧 9

リリースノートについて

リリースノートは、CAT の最新リリースに関する総合的なユーザガイドです。CAT リリースノートは、新機能や強化機能、そしてそれらをすぐに活用するために必要な情報を提供します。

リリースノートの内容

リリースノートでは、新しい重要な機能強化について次の情報を提供します。

- 機能に関する簡潔で詳細な説明
- 設定と管理の開始にあたって役に立つ実装のヒント
- メリットを最大限に引き出すのに役立つベストプラクティス
- 詳細な説明

主な新機能以外のメール、新しいレポートタイプ、セキュリティとパッケージなど、最新リリースに含まれるその他の機能強化や機能変更の一覧と簡単な説明は、その他の機能強化の章に記載されています。

CAT の最新リリースを使いこなすためのガイドとして、リリースノートをお役立てください。

フィードバックについて

CAT が成功を収めるには、リリースノート、オンラインヘルプ、およびドキュメントがいかに重要であるかを認識しています。提供するコンテンツの継続的な向上のために、成功要因と失敗要因を把握したいと考えています。情報のご提供をお待ちしております。

1. 主な修正

CAT4.11.300 では主に以下の 6 点の修正を行いました。

- ログイン機能の強化
- 障害参照画面での障害の編集・移動・複製
- 障害コメントへのファイル添付
- 外部 BTS 連携時の障害紐付けの簡易化
- プロジェクト識別子の設定
- テスト予定の CSV インポート・ダウンロード機能

各機能改善について説明致します。

1.1. ログイン機能の強化

ログイン機能の強化を行いました。機能強化は以下の通りです。
※ヘッダー（歯車アイコン）→システム設定→ログイン管理

[ログイン管理設定]

- セッションタイムアウト時間の設定

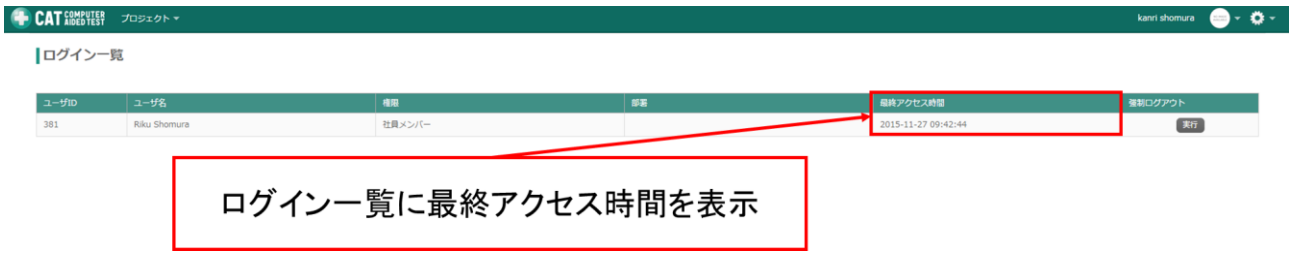
セッションタイムアウト時間(分)を設定できるようになります。　※初期値 960 分

- ログイン一覧画面の表示非表示設定

ご購入いただいているライセンス数を超過したログインが発生した場合、現在のログイン中のユーザー一覧を表示させ、強制ログアウトを実行できる画面を表示しております。

今回の機能追加でこの画面の表示非表示設定が権限毎に可能となりました。非表示に設定した場合、ログイン時に同時アクセス数を超過しているとログインエラーとなります。これまでに比べ権限に応じた運用が可能となります。

またログイン一覧においては、最終アクセス時刻を追加しています。強制ログアウトの判断条件として活用ください。



CAT4.11.3 リリースノート

[ログイン分析]

- ログイン分析機能

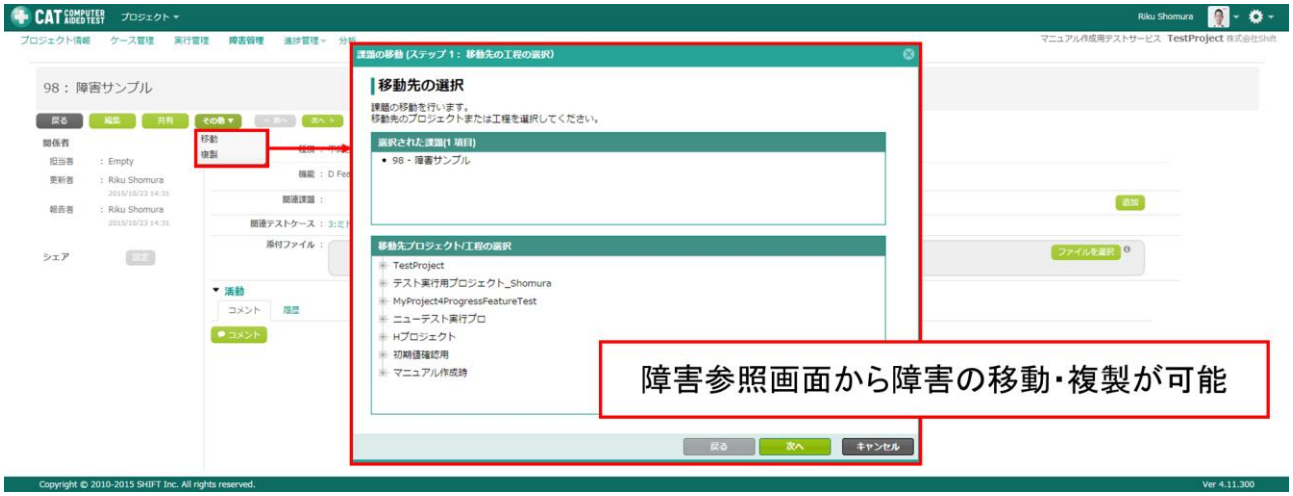
強制ログアウト回数、ログイン失敗回数、最大同時ログイン数、ユニークユーザ数、ライセンス数、登録ユーザ数の時間変化をグラフ表示する機能を追加しました。グラフの各項目は以下の通りです。
ライセンスの増加検討やセッションタイムアウト時間の検討の材料としてご利用ください。

判例名	項目説明
強制ログアウト回数	強制ログアウトが実行された回数です。強制ログアウトの発生頻度・回数が多い場合は、ライセンス数の見直しまたはセッションタイムアウトの見直しをご検討ください。
ログイン失敗回数	ライセンス数上限に到達しているためにユーザがログインできなかった回数です。ログイン失敗の発生頻度・回数が多い場合は、ライセンス数の見直しまたはセッションタイムアウトの見直しをご検討ください。
最大同時ログイン数	表示時間単位当たり(時間表示の場合は一時間当たり、日表示の場合は一日当たり)で発生した瞬間最大同時ログイン数の最大値です。この値がライセンス数に到達するとユーザはログイン不可能となります。
ユニークユーザ数	表示単位当たりにログインしたユーザとライセンス数上限到達時にログイン失敗したユーザのユニーク数です。ユニークユーザ数の CAT へのログインを必要とした人数を計る指標となります。強制ログアウト回数・ログイン失敗回数と合わせて見ることにより、ご契約ライセンスの見直しに活用ください。
ライセンス数	ご契約中のライセンス数を確認することができます。
登録ユーザ数	CAT に登録されているユーザ数です。 ※初期表示は非表示となります。

1.2. 障害参照画面での障害の編集・移動・複製

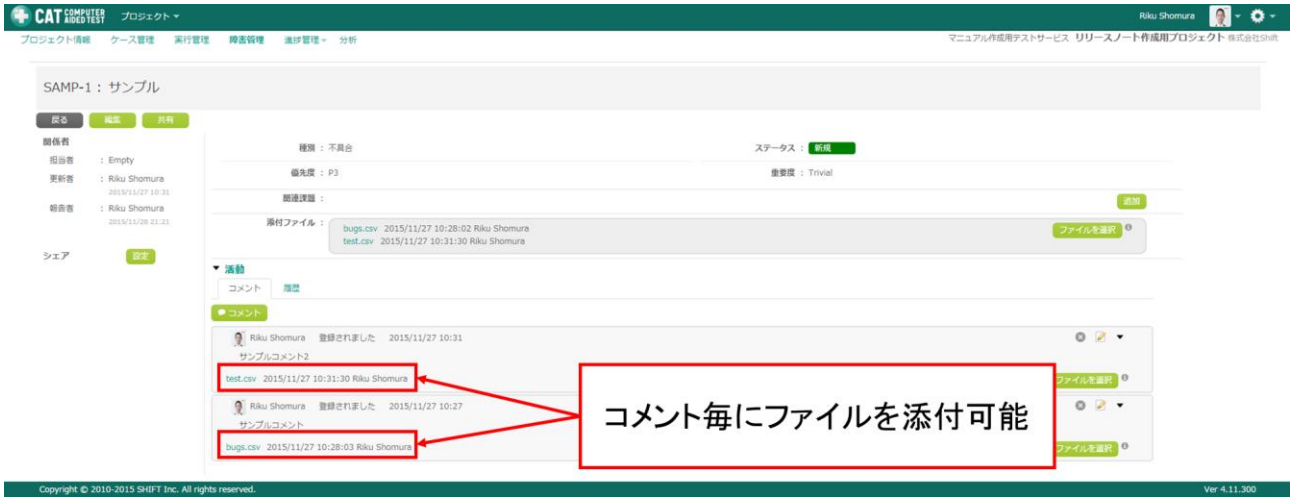
障害一覧からのみ障害の移動・複製が可能でしたが、今回の修正により参照画面からも障害の編集・移動・複製が可能となりました。

編集可能項目はマウスホバーにて背景が黄色になります。参照画面で表示されていない項目については、編集画面を開き編集する必要があります。



1.3. 障害コメントへのファイル添付

障害に対してのみファイル添付が可能でしたが、コメントに対してファイル添付を行えるよう修正しました。旧バージョンのようにコメントと添付ファイルの関係把握が可能になりました。

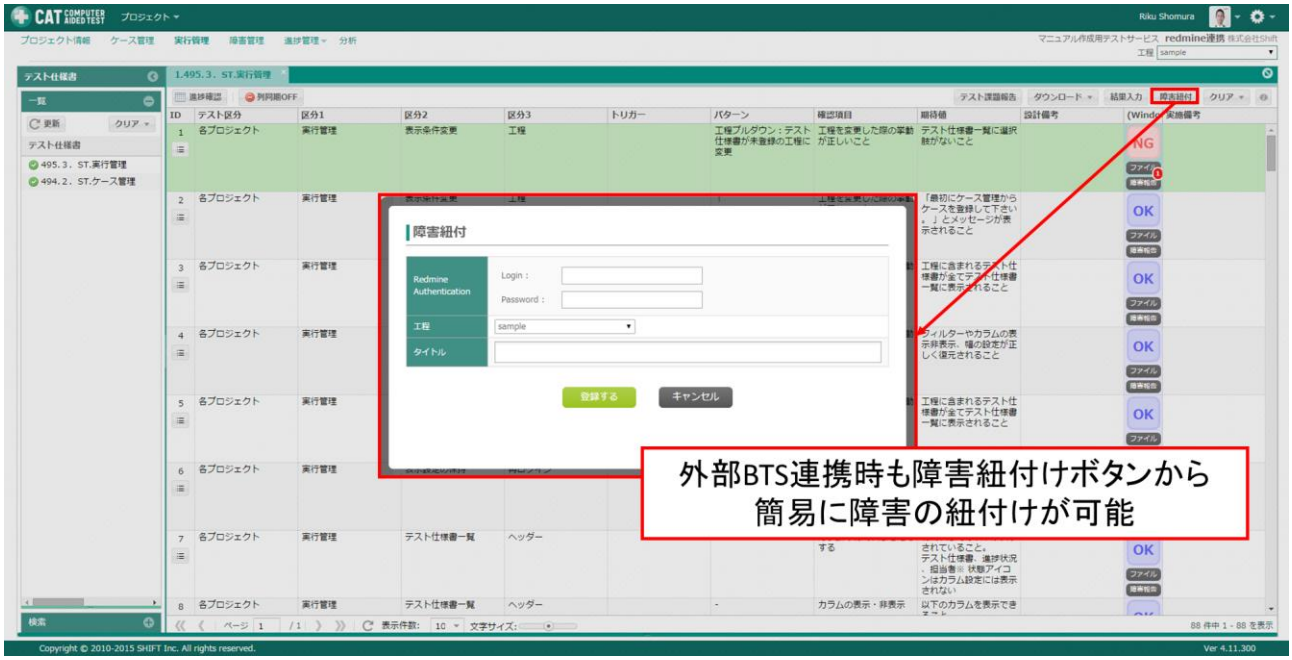


1.4. 外部 BTS 連携時の障害紐付けの簡易化

既存の障害を新たなテストケースと紐付けるためには複数のステップが必要でした。今回の修正により、既存の障害も障害紐付けボタンから簡易に障害の紐付けを行うことができます。

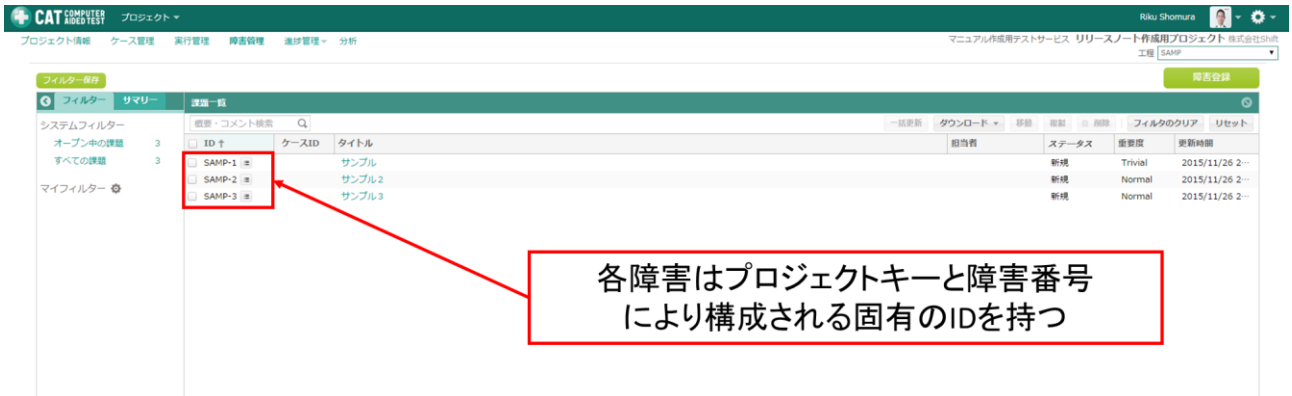
※ユーザ/パスワードについては、外部 BTS で保持しているユーザ/アカウント名を入力ください。

一度入力した情報はログアウトするまで保持されます。



1.5. プロジェクト識別子の設定

本バージョンからプロジェクトはプロジェクト識別子を持ちます。これは障害 ID の接頭等で利用されます。これにより、ID のみで障害が属するプロジェクトが明確になり、プロジェクトをまたいだ障害の関連情報の追加がより簡易になります。



1.6. テスト予定の CSV ダウンロード・インポート機能

従来はテスト予定の入力は CAT 上でのみ登録できましたが、本リリースより、テスト予定の CSV ダウンロード、インポートが可能となりました。

1.6.1. テスト予定の CSV ダウンロード機能

テスト予定の CSV ダウンロードは詳細進捗画面の以下のメニューから行います。ダウンロード対象のテスト予定は「全て」、または、選択した対象のみとすることができます。CSV ファイルの内容は表１の通りです。

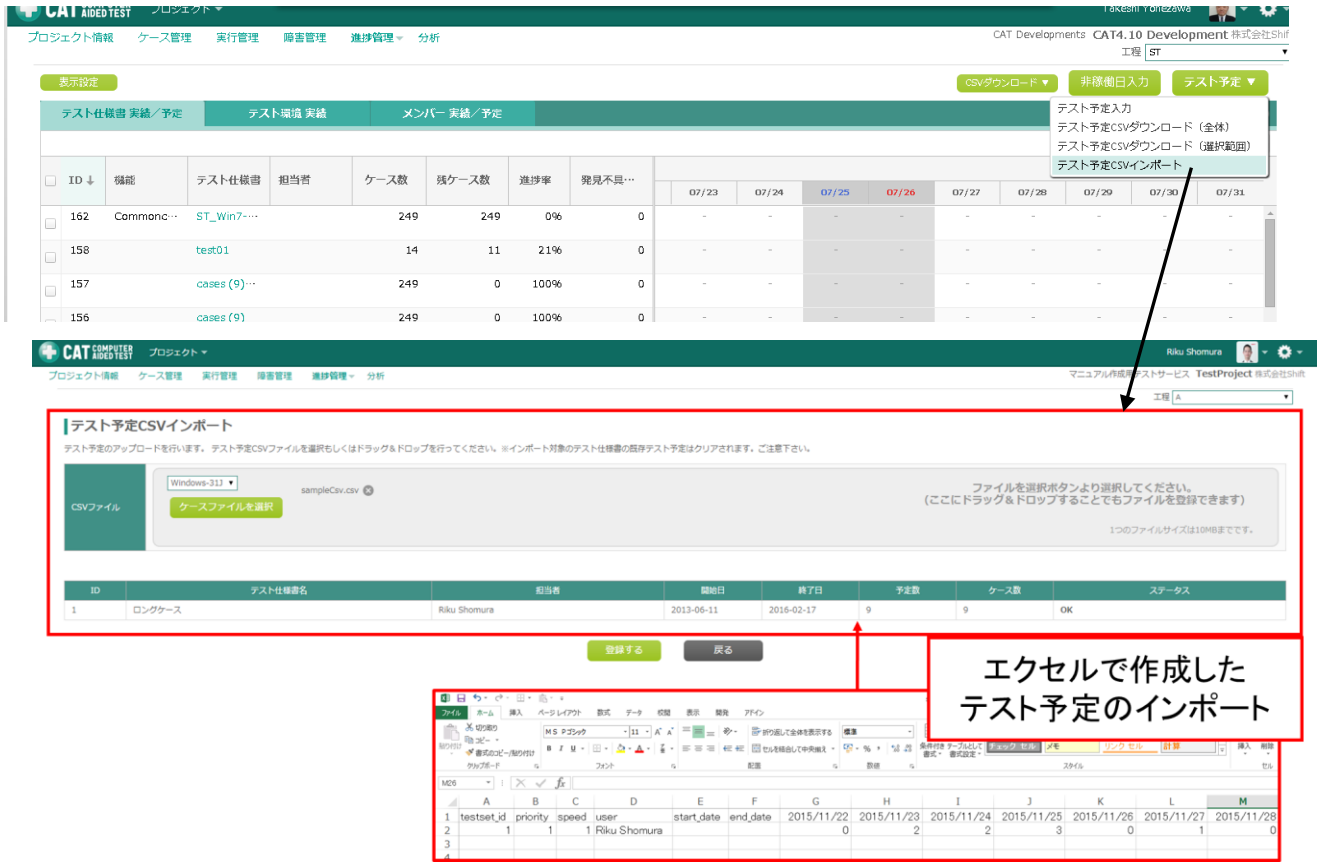
表 1 テスト予定 CSV ファイルフォーマット

列名	型	説明
testset_id	数値	テスト仕様書の ID です。テスト仕様書の ID は「ケース管理」の一覧の No 列から確認することができます。
testset_name	文字列	テスト仕様書の名前です。ダウンロード時に参照情報として含まれる情報で、インポート時には使用されません。
cases	数値	テスト仕様書のケース数です。ダウンロード時に参照情報として含まれる情報で、インポート時には使用されません。
priority	数値	テスト仕様書の優先度です。1-50 （優先度底 1～優先度高 50）までの数値です。
speed	数値	1 ケースにかかる必要時間(単位分)です。
*user	文字列	テスト仕様書の担当者です。CAT に登録されているユーザ名で記載ください。人の割り当てが未決定の場合は「未割当」~~TBA~~を記載して、予定を入力することが可能です。
start_date	日付 yyyy/mm/dd	テスト開始日です。インポート時、空欄の場合は工程開始日が設定されます。
end_date	日付 yyyy/mm/dd	テスト終了日です。インポート時、空欄の場合は工程終了日が設定されます。
*予定日	数値	日毎の予定数です。

1.6.2. テスト予定の CSV インポート機能

ダウンロードした CSV ファイルの項目(表内*がついた項目)を Excel などで編集し、「テスト予定 CSV インポート」画面からアップロードすることで、テスト予定の登録、更新ができます。

※同一テスト仕様書に複数の人を割当したい場合は、テスト仕様書の次行に user 以降の情報を記載して下さい。



2. 障害要望対応一覧

No	障害 ID	内容	備考
1	587 886	外部 BTS 連携における改善 ・更新速度の改善 ・紐付け機能の強化	
2	1120 1134 1139 1188	障害管理機能の改善 ・他プロジェクトとの関連課題紐付け機能の改善 ・参照画面における障害移動、複製、編集機能追加 ・コメントエリアへの添付機能の復活	
3	1224 1235 1239 1244	ログイン関連機能の開発 ・可変セッションタイムアウト設定 ・強制ログアウト実行権限設定 ・ログイン分析	
4	484 671 770	進捗管理における機能改善 ・CSV ダウンロード及びインポート ・表示機能の改善	
5	1312 1280 1279 1278 1159 587	障害管理機能に関する不具合修正 ・ケース ID が 1 桁の場合、ダウンロード CSV を Excel で開くと表示がおかしくなる ・同時実行制御の強化 ・外部 BTS 連携でフィールド長超過エラーとなる ・外部 BTS 連携で更新速度の改善	
6	1277	分析機能に関する不具合修正 ・文字列長が長い場合の表示が乱れる	
7	1276	テスト実行管理に関する不具合修正 ・履歴参照画面で不要な空白がある	
8	1131 852 818 701	進捗管理における不具合修正 ・過去予定修正に関する不具合修正 ・工程が全てに場合に障害の数がおかしくなる ・表示不具合修正	

－以上－